

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 7 日

評価対象事業		評価者	教育総務課担当課長 小澤 圭介		
教育-10	重点事業	放課後子ども教室運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	教育総務課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	青少年課
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	多様な学習機会の提供と学習成果の活用	

1 事業の目的

対象	児童等
意図	子どもたちが地域社会の中で、放課後や週末も安全で安心して過ごせるような居場所を作るとともに、地域全体で子どもたちを見守り育む環境を構築するため。
効果	地域の人々の交流が活性化し、子どもたちが心豊かに育まれるような生涯学習社会を実現する。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室運営会議及び安全研修会を実施した。</li> <li>・放課後子ども教室を実施した。</li> </ul>
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日(住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数	1,982人	事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	1,355	当初予算(千円)	0	
	国県支出金	762	国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他	0	
	一般財源	593	一般財源	0	
	人員配置数	0.9	人員配置数	0.0	
事業経費運営	人件費(千円)	7,060	人件費(千円)	0	
	総事業費(千円)	8,415	総事業費(千円)	0	
	市民1人当りの経費(円)	48	市民1人当りの経費(円)		
	対象者1人当りの経費(円)	4,246	対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	1. 統合できる
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済 <input type="radio"/> -1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
	協働	<input type="radio"/> 協働実施済 <input type="radio"/> -1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input checked="" type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他
	見直しの理由	令和2年度以降、放課後子ども総合プランとして、子どもの家(学童)と放課後子ども教室を一体化して行うため、稲村ヶ崎小学校、今泉小学校の放課後子ども教室を青少年課に移管する。
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
	理由	令和元年度まで教育総務課で実施していた2校を含め、青少年課が市内小学校全校での実施することとなったため、教育総務課の予算は縮小となる。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	放課後子ども教室における事業費のほとんどは人件費であり、現在活用している地域の人材を継続して活用し、ニーズに合ったプログラムをコーディネートできる職員の配置が必要である。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無断で欠席する児童の所在確認など、緊急連絡手段の難しさや煩雑さがある。</li> <li>・保護者から、家庭や学校では体験出来ないような実験や工作などのプログラムを求める要望が増加した。</li> <li>・参加児童数を維持するためには、充実したプログラム内容の検討が必要である。</li> </ul>	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録申請書に、保護者に欠席児童への連絡に関する項目を設けた。</li> <li>・教室の指導者へ放課後子ども教室に関する研修の紹介を行った。</li> <li>・質の高い充実したプログラムを提供するために、指導者・サポーター・コーディネーターがともにプログラムの立案、検討を行った。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	令和元年度放課後子ども教室実施予定校数(湘南三浦教育事務所管内の市町との比較)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	寒川町	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	4教室 16校	3教室 35校	18教室 19校	5教室 5校	0教室 4校	5教室 5校	0教室 8校	
比較事項	令和元年度放課後子ども教室実施予定校数(県内各地区との比較)							
団体名	鎌倉市	県央地区	県西地区	中地区				
他市実績	4教室 16校	65教室 84校	41教室 49校	16教室 58校(分校含)				

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	稲村ヶ崎小、今泉小での教室参加児童数						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				R01(2019)は、新型コロナウイルス感染症予防のため3月の実施を中止した。
プログラムの充実	目標値	1,200	1,800	1,900	1,900	1,900	1,900				
	実績値	1,763	1,932	1,982	2,188	1,982	1,689				
	達成率	146.9%	107.3%	104.3%	115.2%	104.3%	88.9%				
指標の内容	放課後子ども教室と子どもの家の一体型に向けた整備						単位	箇所	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				国の放課後子どもプランを推進するため
国の放課後子どもプランを推進するため	目標値	-	-	0	0	2	9				
	実績値	-	-	0	0	2	9				
	達成率	-	-	-	-	100.0%	100.0%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	プログラムの充実を図ってきたため、どの教室も定員以上の応募がある。回数を増やせないため、現状維持を目標としている。放課後子ども総合プランとして、放課後子ども教室と子どもの家の一体型施設を平成30年度(2018年度)に2校、令和元年度(2019年度)に7校実施する(主管は青少年課)。
-----------------------	---